

特色のあるため池の紹介

名 称	所 在 地		
こなかいけ 小中池	おおあみしらさとしこなか 千葉県大網白里市小中		
貯 水 量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
1,014千m ³	634ha	19.7m	252.5m

ため池の紹介文

千葉県の大網白里市は、東京都心から約55km、千葉市中心部より約25kmにあり、県都千葉市に隣接しており、九十九里浜の中央よりやや南下したところに位置します。

小中池は、昭和8年8月に山武郡小中川沿岸用排水改良事業として、当時県議会の承認を得て着工し、途中第二次世界大戦の勃発による悪条件の中で、14年の歳月と15万人の労力によって、昭和22年2月に完成しました。

貯水量1,014千m³、かんがい面積634haを有する県内有数の農業用ため池で、千葉県が選定した房総の魅力500選や農林水産省のため池百選に選定されました。

市では、平成23年4月に「未来に向けてみんなでつくろう！住みたい・住み続けたいまち」を将来像とする総合計画を策定し、「快適で便利な都市機能が充実する大網白里」を目指すべく、緑豊かな田園環境との共生を基本とした公園整備を進めています。

その基本計画に位置づけられている小中池周辺は、県立九十九里自然公園に指定されている地域内に位置し、小中池公園として整備されています。公園には数多くの野鳥が棲息し、自然観察や森林浴が楽しめ、四季を通じて自然とふれあえます。他にも、アスレチック遊具や高低差18m・全長約95mのローラー滑り台などが設置され、地域住民の憩いの場となっております。

また、桜の名所としても知られており、花見の季節は賑わいをみせるとともに、4月下旬から5月上旬のゴールデンウィークには、毎年『こいのぼりまつり』が開催され、池の上を多くの鯉のぼりが泳ぎます。

ため池の写真



こいのぼりまつり



桜の名所



小中池公園

ため池百選(小中池)

(http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/pdf/1201_konaka.pdf)